

小中一貫教育とCSのさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.60 R6.3.19 幕別町教育委員会 学校教育推進員

4年ぶりに制限のない中での教育活動が進められた令和5年度が終了します。この1年、単にコロナ禍前に戻るのではなく、これまでに蓄積された知見と工夫を生かして新たな取組が展開され、小中一貫教育とコミュニティ・スクール（以下CS）もさらに大きく進みました。

各学園・各学校の奮闘に改めて敬意を表します。各学園・各学校では、6年度第1回の学校運営協議会がすでに開催され、5年度の振り返りを終え新たな方策をもって6年度の取組をスタートさせていると思います。

今月は、小中一貫教育とCSの1年間を振り返り、6年度の展望を考えていきます。

幕別町の小中一貫教育・CS 今年度の成果を考える

今年度は、9月の中間総括でもお知らせしたとおり、特別支援教育交流など小中の先生方の交流が進み、子ども同士の交流でも合同学習、合同授業など小小連携の取組が進みました。CSはどの学園でも学校運営協議会で熟議が定着し運営協議会の役割についての理解が進んできました。それでは小中一貫教育、CS、地域学校協働活動のそれぞれについて見ていきます。

小中一貫教育

①乗入授業の拡充進む

日常的に実施されているまくべつ学園は言うに及ばず、他の学園でも乗入授業の実施回数や内容の充実が大きく進みました。



糠内学園では登校から下校まで中学校で3日間を過ごす中学校登校・乗入授業を2回実施しました。時数増だけでなく、事前に小中で単元計画を入念に打ち合わせ、学園課題に迫る授業を目指す中、様々な課題を小中で共有することができました。国語、算数の学力課題に基づく乗入授業を計画的に実施したさつない学園、定期的な乗入授業が定着してきたちゅうるい学園、限られた人員をやりくりしできる限り実施した札内東学園、いずれの学園も昨年より取組が拡充しました。

②小小、小中の連携・交流が大きく進む

複数の小学校を抱える3つの学園で小小連携が大きく進んだことも今年度の大きな成果と言えます。

札内東学園では白人小、札内北小2校による野遊び×教育プログラム（ふるさと学習）が全学年で実施され、昨年は6年生のみの実施だった合同授業も、今年度は2年生以上の各学年で実施されました。さつない学園でも古舞小、途別小、札内南小3校による合同学習が数回開かれるなど小小連携が大きく進みました。

また、学園全体の連携・交流も進み、学園の一体感が高まっています。定期的に5年生のオンライン交流を続けている糠内学園では2小合同の着衣水泳も行われ、3校合同の学園マラソン記録会や諸鈍小中学校とのオンライン交流など学園全体の取組が増えてきました。学園創立時から取り組まれているちゅうるい学園の合同体力テストはすっかり定着し、5・6年生と中学生全員が一緒に行うシャトルランでは、終了後のミニレクリエーションや体づくり運動で交流を深めています。まくべつ学園でも総合的な学習の時間に同じような学習内容の小中合同授業が行われています。



先生方の交流・連携も一層の進展を見せ、校内研究のテーマ自体を統一し合同の研修会議を開くまくべつ学園を筆頭に、小中一貫ふるさと学習・キャリア教育の「かぼちゃプロジェクト」の取組を互いに参観するほか校内研究授業も必ず相互参観しているちゅうるい学園や ICT 活用を含めた授業実践交流を続ける糠内学園、札内東学園、生徒指導や特別支援教育についての定期的な交流を継続するさつない学園など、学園全体の情報共有・交流が進みました。名実ともに小中一貫校としての教育活動が充実する1年となりました。



③小中一貫教育課程の整備が大きな力に

これらの成果を下支えしているのが昨年度から取り組み、今年度ほぼ完成を見た小中一貫教育課程の存在です。学園の学力分析による課題に基づいて重点単元を設定した小中一貫の教育課程が土台となり、計画的な乗入授業の実施や日常的な交流につながっていきました。やはり、教育課程が学校の核心であることに改めて気づかされました。

今後にも不断に改善し小中一貫教育の基盤として機能するよう充実を図りたいものです。

CS(コミュニティ・スクール)

①実際の教育活動を動かす熟議の充実

今年度、各学園の運営協議会での熟議が充実しました。学校経営・学校運営に直結するテーマでの熟議が多くなり、地域の知恵や願いが学園・学校の経営・運営に反映される、実効性のある熟議に発展してきています。

札内東学園では、熟議を受けて学園と各校の経営方針の年度重点を「考動する(考えて行動する)子ども」とし、ちゅうるい学園では、熟議を経て学園目標を「新しい つながり」と決めました。まくべつ学園でも、「さらに地域と連携した教育活動を進めるには」のテーマで熟議を行い、新たな協力団体や企業との結びつきを得るなど、実際の教育活動を動かす熟議となってきました。



②活動サイクルが軌道に乗り、役割の理解が進む

今年度、運営協議会の活動サイクルが定まり軌道に乗ってきました。2・3月に行われる次年度経営方針の承認を主とする運営協議会に始まり、中間2回の運営協議会での熟議、そして活動を振り返る1月の運営協議会という流れが確立してきました。

初めの会議で運営協議会自体の年間計画や年度重点などを話し合い、学園評価をもとに「目指す子ども像」にどれだけ迫れたのかを総括する最後の会議までの流れができつつあり、ちゅうるい学園のように自らの学びや育ちを振り返る子ども(中学生)の熟議が行われる学園も出てきました。

こうした取組の中で運営協議会委員の経験値が上がり、運営協議会とその委員の役割について理解も進んできました。行動する運営協議会と評される糠内学園では、委員の発案による奄美大島諸鈍小中学校と糠内中学校のオンライン交流を実現させてきましたが、今年度は小学校高学年も参加し学園としての交流に発展させています。11月には協議会の会長・副会長が諸鈍小中学校を訪問し授業に参加したり、設置者である瀬戸内町教育委員会にも行き交流の意義を確認したりしています。

こうした運営協議会の取組の様子を今後は地域にも広く知らせていきたいものです。

地学協働活動

①取組の広がり、活動の充実

地域学校協働本部がすでに設置されている札内東学園のほかに、糠内学園でも協働本部ができました。行動する運営協議会がある糠内学園は、別組織として作ると動きづらいと、協議会委員が兼任し協働本部とすることにしました。幕別町で

2つ目の地学協働本部の誕生となりました。

先行する札内東学園では、活動の幅が広がり、これまでの図書ボランティア活動に加えて、白人小（チロッター）では教材園の草取りや防災紙しばいの読み聞かせ（防災の日の取組）、授業補助などが、札北小（きたよ〜）では新1年生の下校指導補助やミシン授業の補助などが取り組まれるようになりました。札東中でもパークゴルフ体験の際、パークゴルフ協会から講師を招いています。



小中一貫教育の柱の1つでもある郷土愛を育む教育活動に、地域学校協働活動が力を発揮するようになっていきます。

②地域学校協働本部設立に向けた動きが加速



他の学園でも地学協働本部設立に向けた動きが活発になってきました。各学園では、地域の協力によって行われている教育活動が一目でわかる「まるわかり サポーターの図」を作成し、地学協働活動のイメージを広げ、協働本部設立への機運を高めています。今後、これらを保護者・地域に広く周知し、活動の輪を大きくしていくことが求められています。

次年度に向けて

次年度は、小中一貫教育とCS・地学協働活動のいっそうの充実を図る1年となります。核となる取組は3つです。

①小中一貫教育課程の整備・改善・充実

全教科の作成がまだの学園は次年度の早い段階で整備することが求められます。整備済みの学園では、日々の教育実践の中で気づいたことを朱書きするなどして改善を図ることが求められます。その際、学年の区切りを強く意識することが大事になります。小学校低学年はスタートカリキュラムの充実を図り自ら学ぶ力の出発点とすること、小学校中学年は基礎期を完成させる段階として漏れ落ちのない指導・支援をすること、活用期である小学校高学年と中学1年生は主体的に学ぶ力を伸ばし最後の応用期へつなぐことなど、9年間の中での各学年の位置づけを意識して改善を図ることが極めて大事になります。カリキュラム・マネジメントを通して本当に使える小中一貫教育課程へ充実させることが次年度の取組となります。

②熟議テーマの工夫と具体的な協議、そして広報活動強化

運営協議会では、熟議テーマの工夫と、熟議結果をまとめ具体的な行動を決める協議をすること、が次年度の重点となります。ここができるようになると、活動が加速的に進んでいきます。難しい取組ですががんばりたいところです。また、このような取組を広く地域に知らせることも次年度の大きな課題となります。あらゆる機会にCSの話を！を合言葉に進めたいものです。

③学園が望む支援と活動のすり合わせ

札内東学園の地学協働活動が大きく進んだのは、学園・学校が望む支援と地域がやれる活動のすり合わせを行ってからです。熟議では、様々なアイデアが出されますが、それがそのまま学校でできる活動とはなりません。まずは学校が求める支援活動から始めるのが全国的な成功例となっています。次年度はぜひ各学園ですり合わせの機会をもちたいものです。

小中一貫教育・CS関係 4月の動き

- 3日(水) 糠内学園定例経営会議
まくべつ学園春休み学習教室
- 4日(木) さつない学園春休み学び講座
さつない学園校長等連絡調整会議
- 10日(水) さつない学園小中児童生徒様子交流
- 16日(火) 各学園総会・全体会（教育振興会総会后）
- 17日(水) さつない学園小中児童生徒様子交流
- 24日(水) さつない学園小中児童生徒様子交流
- 26日(金) まくべつ学園一斉部会
- 日程未定 ちゅうるい学園第2回運営協議会
（4月～5月開催予定）